

第248回地震予知連絡会（令和7年8月19日）各機関からの提出議題

【1】気象庁

1. 地殻活動の概況

a. 地震活動

(O) 全国M5.0以上の地震と主な地震の発震機構

要旨：2025年5月～2025年7月の全国の地震活動概況を報告する。

3. プレート境界の固着状態とその変化

a. 日本海溝・千島海溝周辺

(S) 浦河沖の地震（5月23日 M5.4）

(S) 十勝地方南部の地震（5月26日 M5.3）

(S) 北海道東方沖の地震（5月30日 M5.5）

(O) 十勝沖の地震（6月2日 M6.1、及び6月3日 M5.2）

要旨：2025年6月2日03時51分に十勝沖の深さ27kmでM6.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。また、6月3日22時18分にほぼ同じ場所でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。これらの地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(O) 根室半島南東沖の地震（6月19日 M6.0、6月22日 M6.0）

要旨：2025年6月19日08時08分に根室半島南東沖の深さ25kmでM6.0の地震（最大震度4）が発生した。また、6月22日06時23分にほぼ同じ場所の深さ24kmでM6.0の地震（最大震度3）が発生した。これらの地震は、発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。これらの地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

(S) 青森県東方沖の地震（5月12日 M5.2）

(S) 茨城県沖の地震（6月25日 M4.2）

(S) 茨城県北部の地震（7月15日 M4.9）

(S) 十勝地方南部の地震（7月28日 M5.3）

(O) ロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震（7月30日 M8.8）

要旨：2025年7月30日08時24分（日本時間、以下同じ）にロシア、カムチャツカ半島東方沖でMw8.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生しており、1952年11月5日にはM9.0（USGSによる）の地震が発生し、北海道から九州の太平洋沿岸を中心に津波を観測した。

b. 相模トラフ周辺・首都圏直下

(S) 東海・南関東地方の地殻変動

c. 南海トラフ・南西諸島海溝周辺

(S) 南海トラフ沿いの地震活動

(S) 東海地域から豊後水道にかけての深部低周波地震活動

(S) 南海トラフ沿いの長期的スロースリップの客観検知

(S) 東海・南関東地方の地殻変動

(S) 紀伊半島中部から紀伊半島北部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり（4月27日～5月14日）

(S) 紀伊半島西部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり（6月27日～7月2日）

(S) 四国西部から四国中部の深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり（6月7日～）

d. その他

(S) ドレーク海峡の地震（5月2日 Mw7.5）

4. その他の地殻活動等

(S) 十勝地方中部の地震（5月15日 M4.7）

(O) 釧路沖の地震（5月31日17時37分 M6.0、17時39分 M5.0）

要旨：2025年5月31日17時37分に釧路沖の深さ20kmでM6.0の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。また、同日17時39分にほぼ同じ場所でM5.0の地震が発生した。これらの地震は、陸のプレート

内で発生した。

(S) 福島県中通りの地震 (5月13日 M4.6)

(O) 「令和6年能登半島地震」(最大規模の地震:2024年1月1日 M7.6、期間中の最大規模の地震:2025年6月6日 M4.3)

要旨:石川県能登地方では2020年12月から地震活動が活発になり、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続する中、2022年6月にM5.4(最大震度6弱)、2023年5月にM6.5(最大震度6強)、2024年1月にM7.6(最大震度7)、2024年6月にM6.0(最大震度5強)、2024年11月にM6.6(最大震度5弱)の地震が発生した。M7.6の地震後の活動域では、地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少してきているが、震度1以上を観測した地震が5月は8回、6月は7回、7月は6回発生するなど、活動は継続している。期間中の最大規模の地震は、6月6日13時48分に石川県西方沖の深さ10kmで発生したM4.3の地震(最大震度2)である。

(S) 岐阜県飛騨地方の地震 (5月29日15時28分 M4.5、及び15時29分 M4.5)

(S) 山口県北部の地震活動(最大規模の地震:6月2日 M2.3)

(O) トカラ列島近海の地震活動(最大規模の地震:7月2日 M5.6)

要旨:2025年6月21日05時頃からトカラ列島近海(小宝島付近)で地震活動が活発になっている。7月2日にM5.6の地震(最大震度5弱)、3日にM5.5の地震(最大震度6弱)が発生するなど、6月21日から7月31日までに震度1以上を観測した地震が2238回発生している。これらの地震は、陸のプレート内で発生した。今回の地震活動域の周辺は、1995年12月、2000年10月、2021年12月など、過去にも活発な地震活動が継続したことがある地域であり、これらの地震活動では、活発な期間と落ち着いた期間を繰り返しながら、数か月程度以上継続したこともあった。今回の一連の地震活動は、1995年以降に発生した地震活動の中で、最も地震回数が多い。

(S) 長崎県南西部の地震 (7月25日 M4.8)

(O) 台湾付近の地震 (5月5日 M6.0)

要旨:2025年5月5日19時53分に台湾付近の深さ14kmでM6.0の地震(日本国内で震度1以上を観測した地点なし)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震の震央付近では、同日19時10分にもM5.4の地震が発生している。

(O) 台湾付近の地震 (6月11日 M6.0)

要旨:2025年6月11日20時00分に台湾付近の深さ38kmでM6.0の地震(日本国内で観測された最大の揺れは震度2)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

(O) 千島列島の地震 (6月14日 M6.2)

【2】国土地理院

1. 地殻活動の概況

b. 地殻変動

(O) GEONETによる全国の地殻変動(水平)(3か月)

要旨:GEONETによるGNSS連続観測から求めた、最近3か月間における全国の水平方向の地殻変動を報告する。

(O) GEONETによる2期間の地殻変動ベクトルの差

要旨:最近3か月間の水平方向の地殻変動について、1年前の同時期の水平変動ベクトルとの差を取って得られた非定常的な変動の概況を報告する。

(O) GEONETによる全国の地殻変動(水平)(1年)

要旨:GEONETによるGNSS連続観測から求めた、最近1年間における全国の水平方向の地殻変動を報告する。

(O) GNSS連続観測から推定した日本列島のひずみ変化

要旨:GNSSデータから推定した、最近1年間における日本列島のひずみ変化の概況を報告する。

2. 東北地方太平洋沖地震関連

【平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の地殻変動】

(O) 地殻変動ベクトル

要旨：東北地方太平洋沖地震後における水平・上下の地殻変動について、全期間の累積変動の概況を報告する。

(O) GNSS 連続観測時系列

要旨：東北地方太平洋沖地震後の東日本における GNSS 連続観測の時系列の概況を報告する。

(O) 変位速度のプレート収束方向に関する水平勾配（北海道～関東地方）

要旨：東北地方太平洋沖地震後のプレート間の固着状況の変化について、電子基準点の変位速度のプレート収束方向に関する水平勾配によるモニタリングの概況を報告する。

3. プレート境界の固着状態とその変化

c. 南海トラフ・南西諸島海溝周辺

【森～掛川～御前崎間の上下変動】

(S) 電子基準点の上下変動（5 基線）

(S) 電子基準点の上下変動 GNSS 連続観測

(S) 駿河湾周辺 GNSS 連続観測時系列

(S) 東海地方の非定常地殻変動

(O) 東海地域の非定常水平地殻変動（長期的ゆっくりすべり）

要旨：2022 年初頭から静岡県西部から愛知県東部において、これまでの傾向とは異なる地殻変動を GNSS で観測したので、その概況を報告する。

(S) 紀伊半島 電子基準点の上下変動 GNSS 連続観測

(S) 南海トラフ周辺 GNSS 連続観測時系列

(S) 南海トラフ沿いの非定常地殻変動

(O) 紀伊半島南部の非定常地殻変動（長期的ゆっくりすべり）

要旨：2020 年初頭頃から紀伊半島南部において、これまでの傾向とは異なる地殻変動を GNSS で観測したので、その概況を報告する。

(O) 四国西部の非定常地殻変動（短期的ゆっくりすべり）

要旨：四国西部において、深部低周波地震（微動）と同期したゆっくりすべりを GNSS データから推定したので、その概況を報告する。

(O) 四国中部の非定常水平地殻変動（長期的ゆっくりすべり）

要旨：2019 年春頃から四国中部において、これまでの傾向とは異なる地殻変動を GNSS で観測したので、その概況を報告する。

(S) 室戸岬周辺 電子基準点の上下変動 GNSS 連続観測

【2024 年 8 月 8 日の日向灘の地震後の地殻変動】

(O) 地殻変動ベクトルと GNSS 連続観測時系列

要旨：日向灘の地震における余効変動を GNSS で観測したので、その概況を報告する。

(O) 余効すべり

要旨：余効すべりの概況を報告する。

4. その他の地殻活動等

(S) 加藤&津村（1979）の解析方法による各験潮場の上下変動

(S) 北海道太平洋岸 GNSS 連続観測時系列

(S) 関東周辺 GNSS 連続観測時系列

(O) 2025 年 2 月からの山口県北部の地震活動周辺域の地殻変動

要旨：四国西部において、深部低周波地震（微動）と同期したゆっくりすべりを GNSS データから推定したので、その概況を報告する。

【2025 年 6 月 2, 3 日の十勝沖の地震】

(O) 地殻変動ベクトルと GNSS 連続観測時系列

要旨：地震前後の GNSS 連続観測の解析結果を報告する。

(S) 地震前後の GNSS 連続観測データ

【令和 6 年能登半島地震】

(O) 地殻変動ベクトルと GNSS 連続観測時系列

要旨：令和 6 年能登半島地震における余効変動を GNSS で観測したので、その概況を報告する。

【2025 年 6 月 21 日からのトカラ列島近海の地震活動】

(O) 地殻変動ベクトルと GNSS 連続観測時系列

要旨：GNSS 連続観測の解析結果を報告する。

(O) キネマティック PPP 解析

要旨：キネマティック PPP の解析結果を報告する。

【2025 年 7 月 30 日に発生したロシア・カムチャツカ半島付近の地震に伴う地殻変動】

(O) 地殻変動ベクトルと GNSS 連続観測時系列

要旨：地震前後の GNSS 連続観測の解析結果を報告する。

(O) 「だいち 2 号」による SAR 干渉解析結果

要旨：だいち 2 号のデータの解析を行ったので、その概況を報告する。

【3】北海道大学

【4】東北大学理学研究科・災害科学国際研究所

【5】東京大学地震研究所

【6】東京科学大学

【7】名古屋大学

【8】京都大学理学研究科・防災研究所

【9】九州大学

【10】鹿児島大学

4. その他の地殻活動等

(S) トカラ列島近海の地震活動の再検測による震源分布

【11】統計数理研究所

【12】防災科学技術研究所

3. プレート境界の固着状態とその変化

c. 南海トラフ・南西諸島海溝周辺

(O) 日本周辺における浅部超低周波地震活動

要旨：防災科研 F-net 記録等の波形相関を用いた解析により、種子島近海で超低周波地震活動を検出した。5 月上旬、中旬に種子島の南東で活動が検出された後、数日の休止を挟んで種子島の東で活動は活発化し、活動域を北東方向に移動・拡大させたが、6 月上旬には活動は終息した。

(O) 西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況

要旨：短期的スロースリップイベントを伴う顕著な微動活動は、4 月 27 日～5 月 14 日に紀伊半島北部から南部で、6 月 9 日～7 月 11 日に四国東部から豊後水道において発生した。これら以外の主な微動活動として、7 月 5 日～9 日および 7 月 13 日～19 日に東海地方での微動活動が検知された。

(S) 令和 7 年トカラ列島近海の地震活動による高周波エネルギー輻射量

【13】産業技術総合研究所

3. プレート境界の固着状態とその変化

c. 南海トラフ・南西諸島海溝周辺

(S) 東海・伊豆地域における地下水等観測結果 (2025 年 5 月～2025 年 7 月)

(S) 紀伊半島～四国の地下水・歪観測結果 (2025 年 5 月～2025 年 7 月)

(S) 東海・紀伊半島・四国における短期的スロースリップイベント (2025 年 5 月～2025 年 7 月)

4. その他の地殻活動等

(S) 神奈川県西部地域の地下水位観測 (2025 年 5 月～2025 年 7 月)

(S) 岐阜県東部・長野県西部における活断層周辺における地殻活動観測結果 (2025 年 5 月～2025 年 7 月)

- (S) 近畿地域の地下水・歪観測結果 (2025年5月～2025年7月)
- (S) 鳥取県における温泉水・地下水変化 (2025年2月～2025年7月)

【14】海上保安庁

- 2. 東北地方太平洋沖地震関連
 - (S) 日本海溝沿いの海底地殻変動観測結果
- 3. プレート境界の固着状態とその変化
 - c. 南海トラフ・南西諸島海溝周辺
 - (S) 南海トラフ沿いの海底地殻変動観測結果

【15】海洋研究開発機構

【16】その他の機関

記載分類 (O) 口頭報告, (S) 資料提出のみ
1. 地殻活動の概況 <ul style="list-style-type: none">a. 地震活動b. 地殻変動
2. 東北地方太平洋沖地震関連
3. プレート境界の固着状態とその変化 <ul style="list-style-type: none">a. 日本海溝・千島海溝周辺b. 相模トラフ周辺・首都圏直下c. 南海トラフ・南西諸島海溝周辺d. その他
4. その他の地殻活動等
5. 地殻活動の予測実験